

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2009-58236(P2009-58236A)

【公開日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2007-223321(P2007-223321)

【国際特許分類】

G 0 1 C 21/00 (2006.01)

G 0 8 G 1/0969 (2006.01)

G 0 9 B 29/10 (2006.01)

G 0 9 B 29/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 C 21/00 H

G 0 8 G 1/0969

G 0 9 B 29/10 A

G 0 9 B 29/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月28日(2010.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の音声報知に係るデータを記憶する第 1 記憶手段と、走行中に音声報知を要する事象が発生した場合、音声出力手段を介して該事象に応じた音声報知を出力する制御手段と、を有するナビゲーション装置であって、

前記ナビゲーション装置は、更に前記複数の音声報知毎の標準開始ポイントである第 1 開始ポイントと、該第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が他の音声報知と重複する場合に開始ポイントを変更できる変更範囲を記憶した第 2 記憶手段と、を備えたことを特徴とするナビゲーション装置。

【請求項 2】

前記変更範囲は、前記第 1 開始ポイントよりも手前で音声報知を行う第 2 開始ポイントと、前記第 1 開始ポイントよりも後で音声報知を行う第 3 開始ポイントであることを特徴とする請求項 1 に記載のナビゲーション装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けた他の音声報知と重複する場合、該他の音声報知の第 1 開始ポイントを前記第 2 開始ポイントまたは第 3 開始ポイントに変更することを特徴とする請求項 1 に記載のナビゲーション装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けていない他の音声報知と重複する場合、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けているのであれば、該音声報知の第 1 開始ポイントを前記第 2 開始ポイントまたは第 3 開始ポイントに変更することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れかに記載のナビゲーション装置。

【請求項 5】

前記ナビゲーション装置は、更に入力手段を備え、使用者は前記変更範囲を前記入力手段により設定可能とすることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れかに記載のナビゲーション装置。

【請求項 6】

前記ナビゲーション装置は、前記複数の音声報知毎にランクを設け、前記制御手段は、ランク下位の音声報知中にランク上位の音声報知の要求があったときは、ランク下位の音声報知を中断してランク上位の音声報知を行い、前記使用者による前記入力手段の操作に基づき前記中断した音声報知を報知させることを特徴とする請求項 1 又は 5 に記載のナビゲーション装置。

【請求項 7】

前記ナビゲーション装置は、更に表示部を備え、前記制御手段は、重複する音声報知が同じランクの場合には、何れか一方の音声報知の内容を前記表示部に表示させることを特徴とする請求項 1 又は 6 に記載のナビゲーション装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記音声報知内容の表示を開始するときに鳴動を行うことを特徴とする請求項 7 に記載のナビゲーション装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記課題を解決するために、本願の請求項 1 に係る発明は、複数の音声報知に係るデータを記憶する第 1 記憶手段と、走行中に音声報知を要する事象が発生した場合、音声出力手段を介して該事象に応じた音声報知を出力する制御手段と、を有するナビゲーション装置であって、前記ナビゲーション装置は、更に前記複数の音声報知毎の標準開始ポイントである第 1 開始ポイントと、該第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が他の音声報知と重複する場合に開始ポイントを変更できる変更範囲を記憶した第 2 記憶手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本願の請求項 2 に係る発明は、前記変更範囲は、前記第 1 開始ポイントよりも手前で音声報知を行う第 2 開始ポイントと、前記第 1 開始ポイントよりも後で音声報知を行う第 3 開始ポイントであることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本願の請求項 3 に係る発明は、前記制御手段は、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けた他の音声報知と重複する場合、該他の音声報知の第 1 開始ポイントを前記第 2 開始ポイントまたは第 3 開始ポイントに変更することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本願の請求項4に係る発明は、前記制御手段は、前記第1開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けていない他の音声報知と重複する場合、前記第1開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けているのであれば、該音声報知の第1開始ポイントを前記第2開始ポイントまたは第3開始ポイントに変更することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本願の請求項5に係る発明は、前記ナビゲーション装置は、更に入力手段を備え、使用者は前記変更範囲を前記入力手段により設定可能とすることを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本願の請求項6に係る発明は、前記ナビゲーション装置は、前記音声報知毎にランクを設け、前記制御手段は、ランク下位の音声報知中にランク上位の音声報知の要求があったときは、ランク下位の音声報知を中断してランク上位の音声報知を行い、前記使用者による前記入力手段の操作に基づき前記中断した音声報知を報知させることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本願の請求項7に係る発明は、前記ナビゲーション装置は、更に表示部を備え、前記制御手段は、重複する音声報知が同じランクの場合には、何れか一方の音声報知の内容を前記表示部に表示させることを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本願の請求項8に係る発明は、前記制御手段は、前記音声報知内容の表示を開始するときに鳴動を行うことを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

すなわち、請求項 1 にかかる発明においては、ナビゲーション装置は、更に前記音声報知毎の標準開始ポイントである第 1 開始ポイントと、該第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が他の音声報知と重複する場合に開始ポイントを変更できる変更範囲を記憶した第 2 記憶手段と、を備える。

【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 2 4

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 2 4 】

請求項 3 にかかる発明においては、制御手段は、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けた他の音声報知と重複する場合、該他の音声報知の第 1 開始ポイントを前記第 2 開始ポイントまたは第 3 開始ポイントに変更し、請求項 4 にかかる発明において、制御手段は、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けていない他の音声報知と重複する場合、前記第 1 開始ポイントで出力しようとする音声報知が前記変更範囲を設けているのであれば、該音声報知の第 1 開始ポイントを前記第 2 開始ポイントまたは第 3 開始ポイントに変更する。

【 手 続 補 正 1 2 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 3 0

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 3 0 】

請求項 7 に係る発明においては、制御手段は、重複する音声報知が同じランクの場合には、何れか一方の音声報知の内容を前記表示部に表示させる。